

グンマ未来の部活コミュニティ（第1号）

【総括コーディネーター自己紹介】

氏名：小出利一（コイデトシカス）65歳

役職

NPO 法人

新町スポーツクラブ理事長

スポーツ庁

地域スポーツクラブコーディネーター

新町中学校学校運営協議会委員

職歴

国立大学法人群馬大学医学部附属病院

総務課長・医事課長歴任

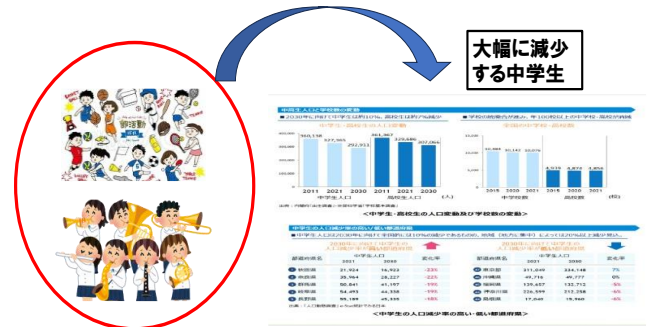
国立大学法人東京大学医学部附属病院

国立大学病院データベースセンター事務長等



【学校部活動地域移行の理由の1つ】

【学校部活動の地域移行が必要な理由】



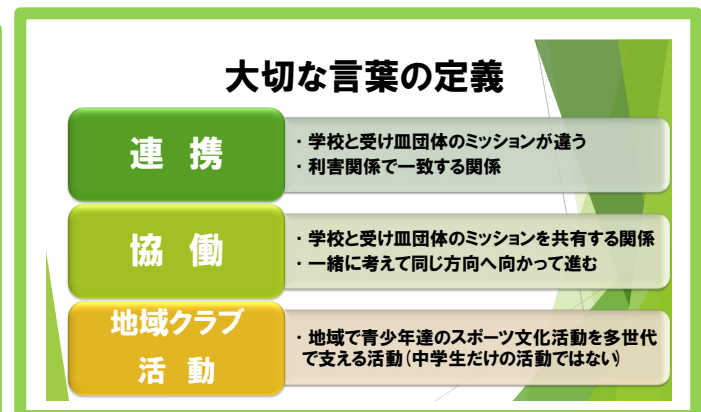
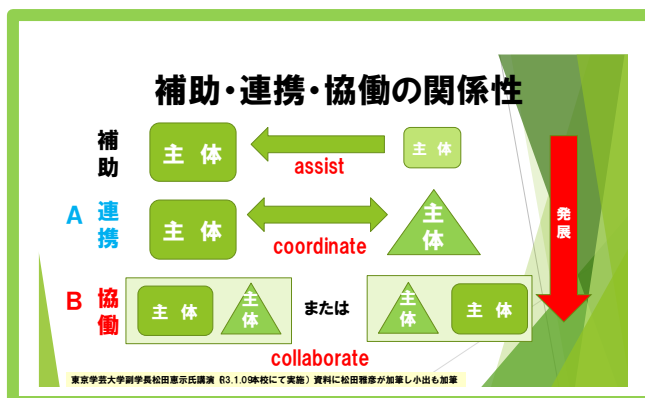
全国的に生徒数激減（学校単位の活動は限界に近い）

本県中学生の減少率 2030年と2021年比較 **-19%**

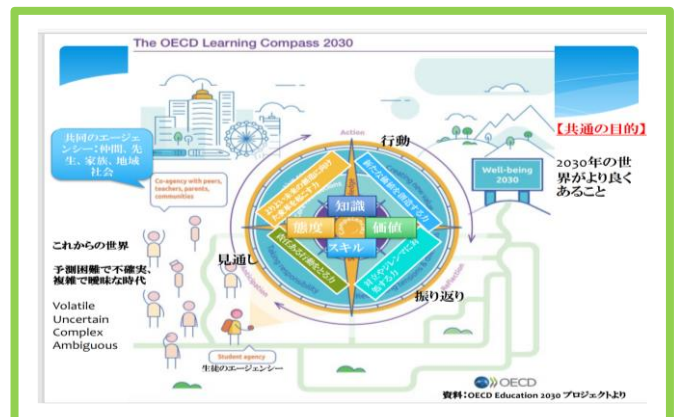
東京と沖縄を除く **45道府県は減少**する

合同チーム数 2021年と2001年を比較すると **6.5倍増**

【補助・連携・協働の関係性と言葉の定義】



【コミュニティスクールとしての地域移行の例と OECD learning compass 2030】



※ 戦後、学校教育として発展し日本のスポーツ界を下支えにして来た「学校部活動」を地域に移行するスポーツ界の大改革。できない理由をいくつ並べても前に進むことはありません。誰も経験がない事を実施する勇気「トライ＆エラー」の精神でできることからやってみませんか

全国の事例 1

【岐阜県白川町一般社団法人スポーツリンク白川】

【一般社団法人スポーツリンク白川の概要】

岐阜県加茂郡白川町は、南西の美濃加茂市や北の下呂市、飛騨地方へとつながるところに位置しており、北から流れる飛騨川、東から流れる佐見川、白川、黒川、赤川などが合流して南西へと流れる「とびっきりの清流と豊かな緑」が自慢の町です。しかし、他の市町村と同様に、少子高齢化で人口減少（令和4年4月現在7,524人）が大きな課題になっています。

組織の特徴として、平成29年3月「総合型地域スポーツクラブ：チャオ白川スポーツクラブ」・「白川町体育協会」・「白川町スポーツ少年団」の3つの任意団体が統合したことです。

「リンク」（つながり）を大切に活動してスポーツ・文化活動を通して地域の人々や各団体が力を合わせ、活力ある人々が暮らす、活力のある町づくりを推進するために「一般社団法人スポーツリンク白川」を設立しました。

【保護者・指導者・学校長・顧問・クラブで 情報共有し年間活動】

（保護者クラブと中学校と総合型クラブの連携がスタート）

23年前にさかのぼります。クラブがある白川町の「白川中学校」の生徒や保護者から「通常の部活動以外にも活動したい！」「もっと練習させたい」といった要望があったため、部活動の終了後に有志の先生や保護者、地域指導者による「延長部活（19時まで）」を実施していましたが、事故やトラブルが起きた際、責任の所在を明らかにできないことから15年前に「チャオ白川スポーツクラブ」（現「スポーツリンク白川」）が「延長部活」を引き継ぐことになり、「スポーツリンク白川」が設立されるまで、白川中学校と連携して部活動を運営してきました。

（学校単独の部活動に限界→受け皿としてクラブ側が支援）

クラブの部活動への参入には種々の理由がありました。学校単独の部活動には限界があります。顧問の先生はおおよそ3年で異動しますし、部活動を19時までやることが問題にもなっていました。また、地域指導者へ指導を依頼した場合でも、延長部活動を指導していただいている学校側からは、地域指導者に意見を言いにくいという側面もありました。クラブ部活動で受け入れる際も、あくまで部活動の考えをベースに総合型クラブ（地域の活動）で受け入れることがはじまりであるので、勝利至上主義の指導にならない、またふさわしい言葉遣いなどが求められます。

（関係者が一堂に会する「部活動育成会」で意思統一）

クラブには地域と保護者が子どもたちの活動を支える「部活動育成会」があります。この組織は、「どんな指導者がいるかを学校側も知りたい」、「地域指導者もどんな人が顧問かを知りたい」、「チームの目標を統一しておきたい」などの声を受け、中学生の部活動に関わる全ての人が一堂に顔を合わせる会という趣旨で立ち上げました。メンバーは校長、部活動主任、PTA 副会長（部活動育成会会長）、部活動顧問、地域指導者、各部活動保護者会長、スポーツリンク事務局、スポーツリンク部活動担当理事です。この組織で学校側と保護者会、地域指導者が同じルールの元で活動するための「規約」

を設けました。

現在、白川中学校の生徒は「スポーツリンク白川」のクラブ会員として、保護者会の推薦を受けた社会人指導者の指導・助言で「スポリン」（クラブ側が携わる部活動運営の総称）の活動に励んでいます。同指導者は、学校とクラブの承認を得て委嘱し、謝金は各部活動が支払う形式をとっております。

【年間チーム目標「ドリームシート」策定で部活動を適切に管理・実施】

活動方法の特徴として「ドリームシート」にあります。

部活動を実施するにあたって、生徒が学校生活をしっかり送ることが大切ですので、スポリンの活動が過度にならないよう、保護者会会長から「スポーツリンク活動計画書」を毎月提出していただき、学校とクラブの承認を得て進めています。同計画書は、保護者会（会長）が地域指導者と相談して決めます。これを顧問に提出し、部活動を実施する時に顧問が確認欄に○をつけます。「部活動育成会」は年2回（4月・9月）開催しており、各部保護者会長、地域指導者、顧問、学校長、クラブ代表者を集めて、活動計画やクラブの連絡事項をはじめ、活動規約の見直しなどを行っています。さらに、保護者会長、顧問、地域指導者で「ドリームシート」を作成し、1年間のチーム目標と、それに関わる活動方針などを共有しています。顧問についても希望者は、地域指導者登録、スポーツリンク白川会員登録をして地域クラブ活動に参加が可能となっております。運動部活動の野球・剣道・男女バスケ・女子バレーだけでなく、吹奏楽部も「部活動育成会」の対象となっております。廃部となった部活動については、地域クラブのチームとしてスポリン活動と同様な活動形態でサポートしております。

【課題：指導者の半数以上が資格未取得】

（熱意のある未取得指導者に依存）

この現状をどう改善するかが課題。現在20名の地域指導者がいるうち、専門種目資格保有者は7人ですが、指導資格がない方も指導者として認めております。中山間地域で、高校や大学がない町では、指導者の確保は長年の課題です。資格有無よりも、地域で中学生の活動を支えたいという思いの強い方を指導者として委嘱してきた経緯があります。今後、地域指導者資格などの育成の動きがありますが、資格取得にかかる費用や時間などの面で、どれだけの方に賛同いただけるか不明です。やはり、資格があることで待遇が得られるなどの保障がない限り、お願いベースでしか頼めないのが現状となっております。

（部活動離れによる種目減少を防ぐのもクラブの役割）

部活動の加入が自由になったことで、生徒の部活動離れが課題になります。また、「土日の活動をやってくれるなら、地域にお願いして土日はゆっくりしたい」と思っている先生方も多いのが現状です。これから少子化による生徒数減少はもっと進みますから、部活動離れによる種目の減少も十分想像できます。地域クラブがその種目を維持できるだけの環境を醸成することが、これからの課題となります。

（廃部となった部活動の受け入れ）

生徒数減少により、2016年にソフトボール部が、翌年には男子バレー部が廃部となりました。2016年の中体連後、ソフトボールのチームはクラブチーム BLAZE（ブレイズ）として、男子バレーはクラブチーム NEXUS（ネクサス）として活動しています。ブレイズにおいては白川町の生徒だけではチームが組めないことから、可児市のクラブチームと合同チームとして公式戦にエントリーしています。ネクサスは令和5年度中体連にクラブチームとして参加し、県大会出場の快挙となりました。

（クラブ独自の講習会を今後も継続）

スポーツリンク白川としては年間、テーピング講座やスポーツ栄養学など、クラブ独自で講習会を開き、地域指導者の質の向上を目指しています。資格保有が理想ではありますが、今できる取り組みとして座学・講習会の提供はこれからも行っていきたいと考えます。

【令和5年夏の快挙 男子バスケ部県大会出場 ⇒ スクールバス運行を行政支援】

地区2位で悲願の県大会出場決定。

一昨年、白川中と佐見中が1つとなったことで、バスケ部員も増えました。

ユニフォームを一新し、保護者がまとまり、地域指導者と顧問もサポートした結果が、県大会出場に繋がりました。部活動だけでは足りない練習を、スポリンを活用して時間を確保しました。

50分かけて通学する佐見地区の生徒もスポリンに参加できるよう、下校バスとスポリンバスの2便が行政から手配されています。

3学年合わせて11人というメンバーですが、県大会での勝利を目指して、また新しいステージに挑戦します。



【クラブプロフィール】

設立年月日 平成29年3月5日（平成29年3月1日法人登記）

所在地 岐阜県加茂郡白川町河岐1645番地1

運営 会員数560名（令和3年3月現在）、予算規模1,800万円（令和3年度）

特徴 ① 総合型クラブ、体育協会、スポーツ少年団が一つになったクラブ

② 幼児期から高齢者までの運動機会を提供するクラブ・スポーツを核とした、交流人口の拡大を目指す

③ 行政と連携した町民の健康づくりを实践

連絡先 〒509-1105 岐阜県加茂郡白川町河岐1645番地1

TEL 0574-72-2317 FAX 0574-72-2503

URL <https://www.link-shirakawa.or.jp/> E-Mail info@link-shirakawa.or.jp

（一般社団法人スポーツリンク白川 クラブマネージャー兼事務局 渡辺 靖代）

発行 群馬県教育委員会健康体育課

発行日 2023年8月1日